

## 2021 年度 児童部門 事業報告

積極的に研修へ参加し、アドバイザーを通じてのケース相談、検討を行うことで、知識、技術の向上を図り、更なるサービスの質の向上を図ることができた。

また、後期より児童・職員に新型コロナウイルスの感染報告を受け、臨機応変な対応を求められたが、都度、他部門及び行政機関と連携し、感染拡大防止策を講じ、事業運営の継続に努めることができた。

### 1 重点取り組み項目

#### (1) インクルージョンの推進継続

- ・インクルージョンが徹底されない原因の究明と実効性のある対応策の検討

今までのインクルージョンの取り組みの目的、内容を見直し、子どもの育ちを中心に活動に取り組んできたが、感染症や職員配置により十分に取り組むことができなかった。今後も継続して取り組み、定期的に情報共有や振り返りをしていく。

- ・児童発達支援センターに交流グループを新設、地域園への移行の検討

交流グループ「たけのこ」を新設し、午前中の活動を中心に保育部との交流を行った。保育部との交流を経て、地域園との交流へと繋げ、前期には1名が地域園へ移行することができた。一方で、保護者と地域園の連携がスムーズに取れず、子どもの育ちに応じた交流ができなかった。今後はスムーズな交流が図れなかった原因を究明し、子どもの育ちに応じて地域園との交流及び移行を進めていきたい。

- ・ホームページや「ガゼルだより」などを活用した保護者への適宜適切な情報提供の徹底と地域への啓発活動の推進

ホームページをリニューアルするにあたり児童部門に掲載する写真や文章を見直し、より各事業の役割がわかるように努め、啓発活動を推進することができた。「ガゼルだより」においても、より活動内容が分かるよう写真を多く掲載し、インクルージョンの取り組みを伝えた。今後も情報を整理し、目的に応じて情報を発信していく。

- ・保育所等訪問支援事業や親子・並行通園、子育て支援センター、一時預かり事業を通じた地域とのインクルージョンの推進

子育て支援センター、一時預かり、親子・並行通園において、コロナ禍であったが感染対策を徹底し、出来る限り受け入れるよう努めた。その中で、必要に応じて保護者面談の機会を設け、保護者の困り感に寄り添うことができた。日頃の

子育てにおける悩みを抱えている保護者も多いため、継続して取り組んでいく。

保育所等訪問支援においては、地域園での認識も高まり、ガゼルの森の啓発にも繋がっている。また、年々ニーズが高まり、契約件数が増加している。一方、件数が増えることで、現体制の限界も感じているため、後期から事業展開をする上での目的や基準、体制の再確認を行い、検討している。

次年度もアドバイザーの意見を取り入れながら継続して検討していく。

## (2) 体制の強化（保育、療育の質の向上等）

### ・配置基準を踏まえた安定した職員配置

保育士等の慢性的な人材不足という社会情勢のなか、職員の配置基準を下回ることはないが、職員の退職や産休・育休、日々の休暇が重なり、毎日、時間単位のシフト組みが必要な状況になっている。日々シフトが変わることで職員の負担も増大しているため、サービスの質の向上や働きやすい環境づくりのためにも、職員確保に努め、安定した職員配置を行っていく。

### ・新たなアドバイザーの配置に伴う、療育、保育内容の質の向上

心理士を週 2 日招き、療育、保育内容の質の向上のために月 1 回の研修開催や、各現場に介入していただき、ケース相談、検討を行うことで具体的な業務に活かすことができた。また、その都度責任者を中心に振り返りを行い、助言をもらった。さらに、理事長、部門長、部門長補佐が参加するガゼル会議を開催し、現状の課題を共有し、ガゼルの森の在り方や今後の対応策について検討し、様々な課題を抽出することができた。この会議により、地域課題も見えてきたため、次年度は行政とも情報を共有し、協議することで療育・保育の質の向上に繋がっていききたい。

### ・新たな研修体系に基づいた職員の知識、技術のさらなる向上

法人の研修、アドバイザーによる研修や関係機関の主催するリモート研修に積極的に参加した。また、一堂に会しての研修参加が難しいという課題もあり、個人で視聴できる LITALICO の動画研修を導入した。それぞれ研修参加後にアンケートを実施しているが、「考え方が変わった」「現場でも実践してみたい」等、前向きな意見が出てきている。今後も継続して取り組み、サービスの質の向上に繋がっていく。

### ・各事業の経営課題を踏まえた事業の拡充に向けての検討

ガゼル会議にて情報の共有、対策の検討をし、円滑な業務の推進に努めた。今後は、地域ニーズを踏まえ、行政とも連携し、採算性も考慮し、事業の拡充に向けて検討していく。

- ・児童発達支援センターにおける保護者ニーズに合わせた弾力的な受け入れ体制の検討（稼働日、時間の検討等）

夏季希望療育を半日稼働にするなど、稼働日を多く設けた。一方で、土曜日や祝日を含めた受け入れ態勢の検討までは至っていない。保護者ニーズに合わせた弾力的なサービス展開をするにあたって、職員負担が増大することも考えられるため、課題等を中期的に捉え、実効性のある事業計画に繋げていく。

- ・医療的ケア児の受け入れ検討

今年度予定していた医療ケアの必要な児童の受け入れがなかった。社会的にも求められている機能でもあるため、今後も検討していく。

- ・ICTの活用による体制の整備

すでに導入しているICTを見直し、さらなる活用方法を検討した。卒園式においてはライブ配信を実施し、職員研修において動画を撮影しYouTubeを活用することで全職員が受講できるようにするなど、その場にはいない方も参加できる体制を整備した。コロナ禍だからこそICTは有用であるため、今後も引き続き検討し、効果的に導入していきたい。

### (3) 地域における公益活動の強化等

- ・関係機関との積極的な協議、連携の仕組みづくり

各関係機関とケース検討や事業運営について積極的に協議し、部会においても積極的に情報発信をしてきた。また、ガゼルの森の用地交渉においては、藤枝市の児童課と協議を重ねてきた結果、一定の成果を得ることができた。

- ・地域の状況、ニーズを踏まえたガゼルの森の在り方の検討

ガゼル会議を開催し、地域の状況、ニーズを踏まえたガゼルの森の在り方を検討し、一定の方向性を見出すことができた。今後も、より具体的で実現可能な中長期的な事業展開、体制作りを検討していく。

- ・ガゼルの森の活動状況を地域に情報発信する仕組みの検討

ホームページ、「ガゼルだより」などで情報発信してきた。しかし、コロナ禍で保護者を含め外部との交流、情報共有の場が減少し、十分な成果をあげることができなかった。今後は、日々の活動をオンラインで配信するなど、効果的に発信できる方法を検討していく。

### (4) 職員の働く環境づくりと働き方の改善

- ・休憩室の整備、休憩時間の確保等による働き方の改善

休憩室、休憩時間を確保したものの、継続して休憩が取れていない。休憩が取

れない課題を再度検討し、休憩時間の確保に向けたシフト組みなど具体的に取  
り組んでいきたい。

- ・業務、役割の明確化、適切な役割分担や連携・協力による円滑な業務の推進  
アドバイザーに意見をもらい、管理職を含めたそれぞれの役割の見直しを  
行った。今後も継続して役割分担を明確にし、円滑に業務が遂行できるよう、取  
り組んでいく。
- ・効率的な業務を推進し定時退社を徹底  
業務の効率化を図るために PC の増設をし、無線 LAN 環境の再整備を行った。  
PC の増設により業務の効率化を図るとともに定時退社の目的を再共有し、定  
時退社に努めていく。
- ・有給休暇取得の推進継続（年 10 日間）  
10 日以上取得：75.4%

#### （5）感染症予防・感染拡大予防対策の徹底（新型コロナウイルス等）

- ・新型コロナウイルス感染予防策の徹底  
各事業に応じた感染対策を検討、実施した。また、感染管理特定認定看護師を  
招き、現状の感染対策の取り組みへ助言をもらい、必要に応じて対策を見直し、  
感染予防対策の充実に努めることができた。また、収集した情報は保護者にお知  
らせし、協力を依頼するなど情報発信にも努めた。今後も継続して行う。
- ・施設の換気設備を含めた感染予防設備の検討  
各部屋に Co2 センサー、空気清浄機を設置し、設備の強化を図った。後期にお  
いては、ガゼルの森内において感染拡大した事例もある為、再度感染対策を見直  
し、必要に応じて設備の強化を図っていく。
- ・安全衛生委員会の機能強化  
産業医を県内在住の医師に変更し、定期的に委員会を開催する中で、新型コロ  
ナウイルスにおける相談、対策の検討をし、感染予防を徹底することができた。  
また、法人本部とも連携し、法人全体の感染対策の強化を図った。今後も社会状  
況の変化に応じて臨機応変に対応できるよう検討していくとともに、委員会の  
強化も図っていく。
- ・国、県及び市の感染予防対策に対する情報収集  
ホームページ、メールにて情報を収集し、必要に応じて連絡をとり、確認、相  
談をした。収集した情報は、保護者を含め外部にも発信した。今後も継続して行  
い、社会状況の変化を把握していく。

(6) 会議への参加

・部門長会議	(隔週木曜日)	部門長、部門長補佐参加
・運営会議	(毎週火曜日)	部門長参加
・職員会議	(毎月最終水曜日)	責任者以上参加
・全体職員会議	(年2回)	全職員参加
・リスクマネジメント委員会	(毎月1回)	担当委員参加
・安全衛生委員会	(毎月1回)	担当委員参加
・苦情解決委員会	(年2回)	担当委員参加
・主任会議	(毎月1回)	責任者以上参加
・ガゼル職員会議	(毎月1回)	各所属職員参加
・クラス会議	(毎月1回)	各クラス職員参加
・栄養士会議	(毎月1回)	栄養士、担当職員参加
・看護師会議	(毎月1回)	看護師、担当職員参加
・ガゼル会議	(毎月1回)	理事長、部門長、部門長補佐、 アドバイザー参加

## 事業報告の付属明細書

2021 年度事業報告には事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。